



地域を愛し、夢を語り、未来を拓く生徒の育成

至誠中だより



2023 年（令和 5 年）
9 月 29 日

Tel 988-0614, Fax 988-0627

No 7

E-mail chu-shisei@manabi.city.fukuyama.hiroshima.jp

道徳参観日・PTA教育講演会

9 月 27 日（水）に道徳参観日を実施しました。

1 年生は、「誰かのために」という資料でした。入院している母が病院から帰る度にお弁当を作る思いと、そのお弁当を見つめる娘の思いを考えることを通して、「家族」について考えました。

- ・お母さんは子供のことを思い、子供はお母さんのことを常に思いながら生活していた。
- ・家族とは、最後までその人のために頑張れるような関係。
- ・母親はやっぱり娘を大切にしているし、娘は母親のことはやっぱり大切だから「家族」というのは「愛」の塊だ。
- ・家族とは、お互いに支え合って生きている大切な存在。

2 年生は、「注文をまちがえる料理店」という「間違いを受け入れ、一緒に楽しむ」という気持ちをもって集まった人々が紡ぐ温かな物語の資料でした。話し合いを通して、たがいに相手のことを認め、理解していくためには、どのようなことが大切なのか考えました。

- ・相手のことを知る。
- ・お互いの心を思いやる。
- ・相手とコミュニケーションをし、考えを共有する。
- ・みんなで助け合おうとする。
- ・間違いを認める。
- ・店主の「自分も間違ふ。間違ってしまうのは誰でもある。おかしくない。」という考えが素敵だと思いました。お客さんも優しいからそんな空気というのはいいなと思いました。

3 年生は、「その子の世界 私の世界」の 4 枚の子供の写真（武器を持った子供、ゴミ捨て場で生まれた子供、国境を越えられない子供、農場で働く子供）から世界の子供の実態を知りました。そして、児童労働をテーマに書かれた谷川俊太郎さんの詩「そのこ」を読み、この問題について自分は何ができるか考えました。

- ・私は学校に行って帰ってを繰り返している日々だけど、学校に通えるのも、帰ることができる家があるのも当たり前のことではないと思いました。もっと世界について知っていかないといけないと思いました。
- ・誰もが幸せな世界になって欲しい。一人が行動するのではなく、今の状況をたくさんの人に知ってもらい、みんなで行動しないといけないと思いました。
- ・自分と同じ年の子供が働いたり、戦争に行ったりしていることに驚いた。全ての国の子供が大人になれるように、きちんとした医療、教育の場を作ることが大切だと思いました。

PTA 教育講演会では、元公立中学校長の後川芳治先生に「しつけは徹底、教育は感動」と題してご講演いただきました。先生の経験に基づいたお話は、笑いあり、涙ありでとても内容の濃いものでした。その中で、家庭での「しつけ」で大切にしてもらいたいこととして、「返事」、「挨拶」、「靴をそろえる」の 3 点を話されました。

10 月行事予定

- | | |
|--------------------------|--------------------------------|
| 2 日（月）ふくやま未来授業公開参観日（3 年） | 17 日（火）JOC オリンピック教室（2 年） |
| 3 日（火）生徒専門委員会 | 24 日（火）修学旅行説明会（2 年）、進路説明会（3 年） |
| 7 日（土）福山地区新人大会（テニス男子） | SC 来校日：3 日（火）、17 日（火） |
| 10 日（火）、11 日（水）中間試験 | |
| 12 日（木）全校集会 | 11 月 2 日（木）に文化活動発表会を開催します。 |